

《起業塾#7》

- 日時: 2016/08/28(日) 13:30-17:30(懇親会 17:30-19:30)
- 場所: AIIT 秋葉原サテライトキャンパス
- 内容: ファイテック
- スケジュール 13:30-13:40 主催者挨拶
 - 13:40-14:10 講演①長 稔也氏 氏(株式会社日立製作所金融システム営業統括本部
金融イノベーション推進センタ部長)
 - 14:15-14:45 講演②岩田 太地 氏(日本電気株式会社 FinTech 事業開発室
マネージャー)
 - 14:55-15:25 講演③富沢 真沙刀 氏(TIS 株式会社決済ビジネス企画部主査)
 - 15:30-16:00 講演④マーク・マクダッド 氏(マネーツリー株式会社取締役
兼 MT LINK 開発責任者)
 - 16:10-17:10 パネルディスカッション
コーディネーター:小山 裕司 氏(産業技術大学院大学情報アーキテクチャ
専攻長 教授)
パネラー:登壇者全員
- 参加者数: 54 名(本学教職員含む)

ATND
PRODUCED BY RECRUIT
 イベント検索 ログイン or 無料登録

日本語
 English

注目のキーワード [unrealEngine](#) [アプリ](#) [swift](#) [AE](#) [データ](#) [HTML5](#) [デザイン](#) [UX](#) [python](#)

AIIT起業塾 #7 - フィンテック -

Tweet Like 49 G+ 0 B! 0

日時: **2016/08/28 (日) 13:30 - 17:30**
[Googleカレンダーに追加](#)

定員: **100人**

会場: **AIIT秋葉原サテライトキャンパス (千代田区外神田 1-18-13 秋葉原タイルビル 12 階)**

URL: http://aiit.ac.jp/about/pdf/access/AIIT_MAP201301.pdf

主催者: [InfoTalk](#) [フォローする](#)

ハッシュタグ: [#aiit_startup](#)



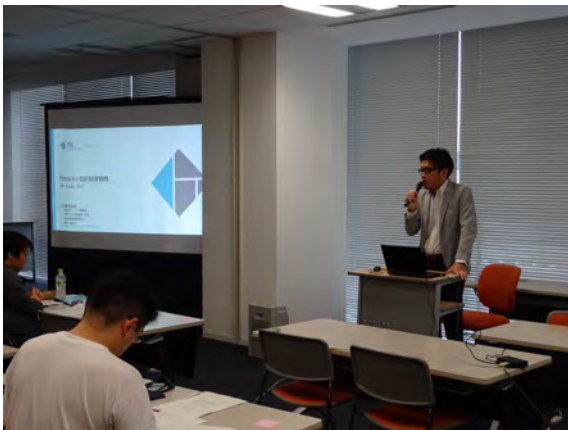
このイベントは終了しました

主催者をフォロー
新規イベントのお知らせが受け取れます



塚田セミナー 2017.3.3(日)

AIIT起業塾は、IT・デザイン・マネジメント等を活用し、各種の産業分野で、新しい事業構築・問題解決を話題に議論



《講演①FinTech》

- 講師: 長 稔也 氏 (株式会社日立製作所金融システム営業統括本部 金融イノベーション推進センタ部長)
- タイトル: 「FinTech の最新動向と金融機関へのインパクト」
- 講演内容: 以下、資料抜粋

HITACHI
Inspire the Next

AIIT起業塾 #7 - フィンテック -

FinTechの最新動向と金融機関へのインパクト

2016年8月28日

株式会社 日立製作所
金融イノベーション推進センタ
長 稔也

© Hitachi, Ltd. 2016. All rights reserved.

FinTechによる金融と社会の未来像

HITACHI
Inspire the Next

- ユーザは自身のライフ・スタイルに合わせて、各種インタフェースを自由に選択可能。
- 金融や公共といった業種単位で共通化が進み、業種共通の機能は社会全体として共通化。

金融サービスへのインタフェースを提供する企業 (自社もしくは他社)

金融機関が業種を越え、金融サービスをオープンAPIにより相互連携

個人/法人 ユーザ

企業提供 インタフェースと業種システムをオープンAPIが仲介

金融

業種別連携

個人認証 / 法人認証

業種種との連携も社会インフラとして具備され、必要に応じて情報連携

生体情報やIDなどを用いた本人認証機能は社会インフラとして共通化

11

人工知能活用の将来像

HITACHI
Inspire the Next

日立製作所では、今後の人工知能を①知識/知能層、②コミュニケーション層、③インタフェース層の3層構造で高度化を推進しています。その中でHitachi AI Technology/Hによる数値データ解析を先行的に適用し、多くの実績を確保しています。

データ・ソース群

外部データ (オープンデータ)

内部データ (システム/取引履歴)

大量テキスト・データ(文書)

人工知能

知識・知能層

蓄積/分析/学習

Hitachi AI Technology/H

数値データの解析

論理的な対話を可能とするAI*

※テキスト・データの解析

その他人工知能

※研究/開発の中で発表

コミュニケーション層

自然対話 (リモートプレーン)

感情などの数値化

音声/画像認識

言語情報の正規化

※質問応答/パターン認識

インタフェース層

フロント・エンド

Web

スマート・デバイス

ロボティクス

14

論理的な対話を可能とするAI (ディベート型AI)

HITACHI
Inspire the Next

■ 数値データの解析に、より高度なテキスト・データの解析を加えることで、「新しい価値の創造」や、「経営判断などの意思決定」を強力に支援することが可能となります。

ビッグデータの解析

数値データの解析

システムが生成する数値データ

外部から取得する数値データ (市場状況など)

Web/SNS情報

メディア情報 (国内・海外)

社内外レポート

社内外レポート

BI

ディベート型AI

議論に対する賛否の根拠や理由を提示

論理的な対話により意思決定(判断)を行う

当局が発行の公文書

16

日立のブロックチェーン標準化に向けての取り組み

HITACHI
Inspire the Next

Linux Foundationが主催するHyperledger Projectでは、オープン・イノベーションによるブロックチェーン基盤開発/標準化に取り組んでいます。当社はコアプロジェクトにボード・メンバーとして参画し、ブロックチェーン・コア機能のオープン・イノベーションによる開発に取り組んでいます。

HITACHI Inspire the Next

JPMorgan

DTCC

PREMIER MEMBER

Fujitsu

Intel

CME Group

Digital Asset

IBM

Accenture

AIRBUS

17

ブロックチェーンの他産業への適用がもたらす影響

HITACHI
Inspire the Next

他産業のスマート化の波は、異なる業界を繋ぎ、社会課題を解決するビジネス・モデル変革を可能にすると考えられます。IoTやスマート・コントラクト等から新しい金流が生まれ、金融業界に新たなビジネス機会をもたらすと期待されています。

- シェアリング・エコノミーの急速な浸透に伴う契約・支払いの自動化
- 高齢化社会の医療費削減に向けたテラード型治療・課金モデルへの変容
- 資産デジタル化がもたらす権利管理強化と課金モデルの変化
- 仲介者不在型取引の広がりに伴い、信用判断は個人に委ねられるようになり、よりよい取引相手・契約を選定することを可能とする新しい写係方式へのニーズの発生

【凡例】

社会基盤またはAPIによる連携

サービス・機能

ユーザ(個人)

【例1】 利権型型の課金モデル・権利管理強化 (資産価値)

【例2】 利権型型の課金モデル (生命保険)

【例3】 変換型の自動化 (税務)

【例4】 契約の合意実行 : ローン返済が特化した際に、自動車をロック

【例5】 よりよい取引の決定 (自動車ローン)

19

《講演②ブロックチェーン》

- 講師: 岩田 太地 氏 (日本電気株式会社 FinTech 事業開発室マネージャー)
- タイトル: 「ブロックチェーンの可能性と課題」
- 講演内容: 以下、資料抜粋

ブロックチェーンの可能性と課題

2016年8月28日

注目を集める分散台帳技術

24+ countries currently investing in DLT

2,500+ patents filed over the last 3 years

90+ corporations have joined blockchain consortia

Global Interest

Bank experimentation

80% of banks predicted to initiate DLT projects by 2017

Over US\$ 1.4 billion in investments over the past 3 years

90+ central banks engaged in DLT discussions worldwide

DLT activity

Research

Consumer efforts

Virtual capital

Central banks

Source: The Future of Financial Institutions (World Economic Forum, August 2016)

繰り返す集中・分散のトレンド

1990 2000 2010 2020

Mainframe

PC

WEB

クラウド

分散台帳

集中

分散

傾向

1990: 汎用エレクトロニクス, インターネット, クラウドサービス

2000: パソコン, オンライン化

2010: スマートフォン, Software As A Service, クラウドコンピューティング

2020: 4M&7G, Internet Of Things, ブロックチェーン

Source: 経済産業省「次世代型デジタル経済・社会・環境戦略」May 28, 2016

ブロックチェーン - 金融インフラとしての可能性

Blockchain

exporter

importer

Producer

Exporter

Forwarder

Customs

Shipping

Customs

Receiver

Importer

CENTRAL BANK

CENTRAL BANK

BANK

BANK

BANK

BANK

BANK

BANK

BANK

ブロックチェーン - 分散台帳技術の分類化

100% Decentralized

100% Centralized

Permissions, Public, Shared Systems (e.g. Bitcoin)

Permissions, Public, Shared Systems

Permissions, Private, Shared Systems

Today's Typical Systems

Centralised Ledgers

Distributed Ledger Technology Covers a Broad Set of Usages

Source: "Distributed Ledger Technology: beyond block chain" A report by the UK Government Chief Scientific Adviser

Fair Trade Blockchain for Inclusive Growth

Traders

Interoperable Private Blockchain

Farmers

Retailers

Farmer

Consumer

Food safety/ Protecting environment

Incentive to participate in fair trade production

Encouraging participation in fair trade

Incentive to pay for premium